



## —市民公開講座2014— がんを知り、がんと向き合う、

外科系診療部長、がんセンター・がん診療部長 畑 中 信 良

2014年3月9日(日)、呉市文化ホールで市民公開講座が行われました。約1050名の方が来場され、盛況のうちに開始されました。

会場では呉医療センターの看護師・薬剤師・栄養士の相談コーナー、がん疾患に関するパネル展示、パンフレット配布などの様々催しもあり好評でした。

第一部では『がんと向き合う医療最前線』と題して講演を行いました。

講演その1「白血病について」では、高蓋敏朗、井口善晃、菅野玲子の3氏が講演しました。まず高蓋血液内科科長より、白血病がどのように発症するか、その診断の流れと最新の治療法についての説明がありました。つぎに当院看護師である井口善晃さんから、自身が骨髄移植ドナーとなったときの体験、本人、家族の気持ちなどを紹介していただきました。最後に日本骨髄バンクのコーディネーター菅野玲子さんが、コーディネーターの役割やドナー登録してからドナーに選ばれるまでの流

れ、ドナー約1000名の方との出会いによる感動などを話されました。

講演その2「胃がんについて」では消化器内科桑井寿雄医長より、胃癌とピロリ菌の関係、最新の胃がん治療としての内視鏡下粘膜下層剝離術(ESD)についての説明がありました。

第二部では『癒しのサウンドブレイク「被爆ピアノ&ヴァイオリン演奏」』と題して演奏会が行われました。被爆ピアノの所有者矢川光則さんが被爆ピアノとの出会いについて話されたあと、鷺宮美幸さんの被爆ピアノの演奏、内山優子さんのヴァイオリンとの協奏が行われました。美しい生演奏の響きに魅せられ、会場全体が酔いしれました。

来場くださった市民の方々、準備に奔走してくださった職員の皆様に感謝いたします。これを機会に少しでも多くの方が検診を受診し、がんの早期発見・治療を心がけていただくように切に祈念いたします。



